

## 生活科学学習指導案

1年3組 23名 指導者 田代宗輔

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 「思考スキル」を身に付けるために活用した「見える図」(ウェビング)の活用は、思考力・判断力・表現力を育成する手立てとして有効であったか。
- 「学び合い」の中で思考力・判断力・表現力を高めるための、教師と子どもの対話や子どもと子どもの対話は、手立てとして有効であったか。

## 1 単 元 なつとあそぼう

## 2 目 標

校庭や公園で友達と仲良く遊んだり、動植物、水、土、砂などの自然を利用して工夫して遊んだりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、公園や校庭がみんなで使うものであることが分かり、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

## 3 単元の評価規準

- 校庭や公園の公共物や身近な動植物に関心を持ち、大切に利用したり、親しみをもって接したりしようとしている。 【生活への関心・意欲・態度】
- 身近なものを利用した遊びを考え、それを素直に表現している。 【活動や体験についての思考・表現】
- 身の回りには、公園など、みんなで遊ぶ場所があることが分かり、夏の自然の様子やみんなで遊ぶ楽しさに気付いている。 【身近な環境や自分についての気付き】

## 4 単元について

## (1) 単元の価値

本単元は、学習指導要領の内容(5)季節の変化と生活、(6)自然や物を使った遊び、(4)公共物や公共施設の利用を受けて構成されている。

現在、映像やゲームなどの仮想体験の増加により、子どもの自然やたくさんの人と関わる体験の少なさが課題として挙げられている。

そこで、身近な自然を観察したり、動植物、土、砂、水などの自然を利用して、工夫して遊んだりすることで、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことができると考える。

## (2) 子どもの実態と指導

本単元における子どもたちの実態を、日常の観察から、次のように捉えた。

## ① 生活への関心・意欲・態度

本学級の子どもは、身近な自然や身の回りの環境に対して興味や関心をもっており、入学してから少しずつ行動の範囲を広げ、教室の周りから校庭へと遊びの場も広がってきている。その中で、見つけたものや気付いたことを積極的に伝えようとしている。そこで、校内の夏探しや自然を利用した遊びを通して、夏という季節を体全体で感じ取ることができるようにする。





## ② 活動や体験についての思考・表現

本学級の子どもは校内の施設や遊具を利用して、友達と仲良く遊んだり、自分の思いや考えを素直に表現したりしている。そこで、教師と子どもの対話を通して、気付きのよさを称賛し、意味付けたり価値付けたりすることで、更に気付きの質を高めていくようにする。

## ③ 身近な環境や自分についての気付き

本学級の子どもたちは、生活科の学習に意欲的に取り組み、身近な自然の面白さや不思議さを素直に感じているようである。しかし、自然を利用して遊びを創り出すような体験が乏しく、工夫することの楽しさや面白さには気付いていないようである。そこで、自然を利用し、工夫して遊んだり、友達と一緒に作る経験をすることで、その楽しさや面白さに気付くことができるようにする。

5 指導計画 (総時数10時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
であう みつける	<p>1 夏と遊ぶ計画を立て、校内の夏探しをする。 【関：身の回りの自然や季節の変化に関心を持ち、身の回りの夏や自然を利用した遊びの計画を立てようとしている。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>入学式の頃の様子を、デジタルカメラで撮った映像で紹介することで、季節の変化や不思議さに関心をもつようにする。また、「見える図」(ウェビング)で、子どものこれまでの経験や気づきを広げたり、整理したりすることで、夏探しの意欲を高めることができるようにする。</p> </div> 	3 (本時)
かかわる	<p>2 自分のお薦めの遊びを教え合い、土遊びや砂遊び、水遊びなどを楽しむ。 【思：土や砂、水を使った遊びを考え、友達と遊んでいる。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土や砂、水を使った遊びでは、教師と子どもの対話を通して、遊びの内容が似ている子どもを紹介することで、互いに教え合ったり、工夫したことを伝え合ったりすることができるようにする。</p> </div>  <p>3 公園へ行き、友達と仲良く遊ぶ。 【気：身の回りには、公園など、みんなで使う遊び場があることが分かるとともに、楽しく安全に利用するためのルールやマナーがあることに気付いている。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公園利用の決まりが書かれた看板を紹介することで、公園は、いろいろな人が利用する場所であることや、みんなで使うものがあることに気付くことができるようにする。</p> </div> 	6
つたえあう つなげる	<p>4 楽しかったことや気付いたことを振り返る。 【気：自然を利用した遊びの楽しさや自然の不思議さ、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活動の様子を、デジタルカメラで撮った映像で振り返りながら話し合うことで、夏についての気づきを広げたり、質を高めたりできるようにする。</p> </div> 	1

6 本 時 (1 / 10)

(1) 目 標

身の回りの自然や季節の変化に関心を持ち、身の回りの夏や自然を利用した遊びの計画を立てることができるようにする。

(2) 評価規準と評価の視点

身の回りの自然や季節の変化に関心を持ち、身の回りの夏や自然を利用した遊びの計画を立てようとしている。 【生活への関心・意欲・態度】

《評価の視点》

- 入学式の頃は、正門の所の桜が咲いていたよ。今はどうなっているのか見に行きたいな。
- 体育館の近くにツバメの巣があったよ。夏はどんな生きものがいるのか探したいな。
- 暑くなってきたから、友達と一緒に水遊びをしたいな

(3) 指導に当たって

これまでに子どもたちは、普段の生活や遊びを通して、季節の変化や自然の不思議さについてつぶやいたり、興味をもったりしている。

そこで本時では、今の自然の様子や夏について知っていることを教師との対話や子どもと子どもの対話(ペア)で話し合うことで、身の回りの夏探しに向けた意欲や夏の自然を利用した遊びへの興味をもつことができるようにする。

「であう・みつける」活動では、入学した頃の自然の様子をデジタルカメラで撮った映像で紹介し、今の自然の様子と比べることで、夏の自然の様子に興味をもつことができるようにする。

「かかわる」活動では、まず、夏について知っていることや体験を付箋紙に表し、教師との対

話や子どもと子どもの対話を通して伝えるようにする。その中で、自分の気付きのよさや友達の気付きのよさに気付くような言葉掛けをしたり、対話する姿を称賛したりしていくようにする。次に、付箋紙を「見える図」(ウェビング)に貼ったり、操作したりすることで、気付きを広げ、質を高めることができるようにする。次に、昨年的一年生が夏と遊ぶ様子を映像で紹介し、どんなことをして遊びたいか話し合うことができるようにする。

「つたえあう・つなげる」活動では、「見える図」(ウェビング)を振り返り、気付いたことを発表し合い、称賛したり価値付けたりするとともに、夏探しや自然を利用した遊びに向けた意欲化を図るようにする。

(4) 本時の展開

( ) 子どもの意識

☐ 指導の手立て

※ 評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て・評価	
であう・みつける	10	1 入学した頃の自然の様子を映像で振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラだね。入学式の頃は、いっぱい咲いていてきれいだったよ。</li> <li>・体育館の近くの渡り廊下にツバメの巣があったよ。赤ちゃんがいるみたいだよ。</li> </ul>	<p>入学した頃の自然の様子を映像で振り返り、今の自然の様子と違ったり、変わったりしていることに気付かせることで、夏という季節への関心を高めるようにする。</p>
		2 本時のめあてをつかむ。 ☐ なつとあそぶ けいかくをたてよう。	<p>教師と子ども、子どもと子どもの対話の充実を図るために、夏について知っていることや、子ども一人一人の体験を付箋紙に表してから話すようにする。</p>
かかわる	25	3 夏について知っていることや子ども一人一人の体験を、付箋紙に表して話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑いから、汗をいっぱいかくよね。</li> <li>・セミがいっぱい鳴くよ。</li> <li>・ヒマワリを幼稚園で育てたよ。</li> <li>・家族で海に行行って楽しかったよ。</li> </ul>	<p>子どもが表した付箋紙を、見える図「ウェビング」に貼ったり、操作したりして、気付きを広げたり、気付きの質を高めたりする。</p>
		4 付箋紙を「見える図」(ウェビング)に貼ったり操作したりする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に行ったことがある友達が、たくさんいるんだな。</li> <li>・田上の森には、カエルやアメンボがいるんだね。知らなかったよ。見に行きたいな。</li> <li>・夏のことをたくさん知っていると思ったけど、似ているものを重ねていくとあまり知らないことに気付いたよ。</li> </ul>	<p>※ 身の回りの自然や季節の変化に関心をもち、身の回りの夏や自然を利用した遊びの計画を立てようとしている。 (発表・対話・観察)</p> <p>○ 夏について知っていることや自分の体験を付箋紙に表したり、友達と進んで話し合ったりしている子どもには、称賛し、そのよさを価値付けるようにする。</p> <p>○ 活動が進まない子どもには、教師や友達との対話を通して、助言や支援をしていくようにする。</p>
つたえあう・つなげる	10	5 昨年の活動の様子を見て、夏と遊ぶ計画を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏を探す探検がしたいな。</li> <li>・暑くなってきたから、水遊びをして遊ぶと気持ちがよさそうだな。</li> <li>・ぼくも砂や土で団子を作りたいな。</li> </ul>	<p>昨年的一年生が行った夏と遊ぶ様子を映像で紹介することで、夏と遊ぶ意欲を高めることができるようにする。</p>
		6 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のことについて知っていることを、友達に教えてあげたらびっくりしていたよ。</li> <li>・友達がいろいろなことを知っていることに気付いたよ。もっと教えてもらいたいな。</li> <li>・夏探しの探検に行ったり、土や砂で遊んだり、水遊びをしたりしたいな。</li> </ul>	<p>話し合いの様子や自分たちで計画を立てられたことを称賛することで、自分のよさや友達のよさにも気付くことができるようにする。</p> <p>次時の活動について知らせることで、今後の活動への意欲を高めるようにする。</p>

生活